

川崎市議会議員

本間 賢次郎 ケンジロウ

市政レポート No. 17 (令和元年5月号)

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17
TEL044-742-8072 FAX044-211-1081

ごあいさつ



令和時代の幕開けを謹んでお慶び申し上げます。
新時代が皆様にとりまして、一層輝かしい日々となりますようお祈り申し上げます。

戦争のない平和な時代であった平成の時代に感謝をし、平和な時代の礎を築いてくださった方々の想いを受け継ぎ、皆様とともにこの新たな時代を歩んで参ります。

一方で、平成は災害の多い時代でもありました。地震、津波、噴火、台風、豪雨、異常気象などのさまざまな自然災害に見舞われました。改めて、犠牲になられた皆様のご冥福をお祈りし、被災された方々にお見舞い申し上げます。災害に強く、絆の強い、安心安全な川崎の街づくりに取り組んで参ります。

自民党川崎市議団

統一地方選挙後、川崎議会では新たな体制に向けての会議・協議を重ね、5月3日からの新任期、そして、同16日の議員総会、そして、同20日、21日の臨時会へと準備を行って参りました。私の所属する自由民主党川崎市議会議員団（自民党川崎市議団）は、選挙前に比べ1人増の19人会派となり、第一党の座を守りました。新しい自民党川崎市議団の団員は以下のとおりです。※〈長〉＝団長、〈副〉＝副団長、○数字は当選回数

【川崎区】嶋崎 嘉夫⑦、本間 賢次郎②、山田 瑛理①

【幸 区】鏑木 茂哉⑦、野田 雅之②

【中原区】松原 成文⑤、原 典之③、〈副〉末永 直②、吉沢 直美①

【高津区】大島 明⑥、青木 功雄④、〈副〉斎藤 伸志②

【宮前区】浅野 文直⑥、石田 康博⑥、矢沢 孝雄②

【多摩区】〈長〉橋本 勝④、各務 雅彦①、上原 正裕①

【麻生区】山崎 直史⑤

「ホテルシップ」運営の協議対象者決定！

本間 賢次郎が初当選以来取り組んできました東京 2020 オリンピック・パラリンピックの大会期間中の川崎港における「ホテルシップ」について運営の協議対象者が去る 3 月 29 日に下表のとおり決定し、覚書を締結致しました。これに伴い川崎港に入港予定の船も発表され、今後は運営の詳細について関係機関等を含めての協議を重ね、協定の締結へと向かいます。

公表が選挙告示日でしたので、私は選挙後速やかに港湾局の担当者と意見交換致しました。これまでの経緯について改めて説明を受けるとともに、国や他都市の状況、法や条例の課題、インフラ整備や市内の観光促進への取り組み、停泊地周辺でのおもてなしの取り組み、市内産業、民間活力を活かした取り組み等について、提案も含めて意見を伝えました。今後も「川崎ならではの港の楽しみ方」を真剣に考え、川崎の港の振興にご尽力されている市民の皆様のご意見などをしっかりと頂いて、ホテルシップの成功に向け、市民・行政が一体となれる環境づくりを目指して参ります。

今後の行政発表の予定と致しましては、この度の「ホテルシップ事業に関する覚書」に基づき、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会開催時のホテルシップ実現に向け、運営の詳細について関係機関等を含め、継続的に協議を進めることとなっています。そして、ホテルシップ運営内容が確定した段階で協定を締結する予定となっています。

協議対象者名	ゲンティン香港
停泊場所	東扇島外貿9号岸壁及び8号岸壁の一部
停泊期間	7月23日から8月9日まで（18日間）〔予定〕
使用予定船舶名	Explorer Dream（エクスプロードリーム）
総トン数	75,338 t
全長	268.60 m
船幅	32.20 m
満載喫水	7.90 m
乗客定員	1,870人
総定員	2,800人
客室数	約928室